

算 数 科 経 営 の 構 想	担当	上野 祐子
-----------------	----	-------

専科授業の目標

よく考え、よく表現し、仲間とともに進んで問題解決しようとする力を育てる

目指す子供の姿

よく考え、自分なりに表現する子	仲間と考えを伝え合い、問題解決する子	学びに向かう子
-----------------	--------------------	---------

専科としての方針と  重点的な取り組み

◎ 学ぶ意欲を高める教材の工夫と思考力及び表現力を高める活動の工夫に努めます。 - 学習内容に対して「学びたい!」「やってみたい!」「あれ、おかしいな?」などと思えるように教材を工夫したり、算数的活動を取り入れたりします。 - 自分なりに考えを表現できるように、解決の見通しをもって自分で考えたり、考えを表現したりする場面を積極的に設けます。	◎ 考えを伝えたり聞いたりする態度を育てる指導と考えを伝え合う場面の設定に努めます。 「例えば…」、「もし、…だったら」などの言葉を価値付けて、促進していきます。 - 仲間の考えを聞いたり、解釈したり、説明したりする場面を設けて、仲間とともに問題解決しようとする態度を育てます。 - ペア、小集団、全体と様々な形態での考えを伝え合う場面を積極的に設けます。	◎ 主体的に学習し、自らの学びを意識できるような授業展開を構成します。 - 学んだことを確かめたり、自分なりの言葉でまとめたり、思い出したりする振り返りの時間を設けます。 - どんなことを学んだのかだけでなく、どのようにして学んだのかを振り返られるように発問を構成します。 - 子供の学習状況に応じた練習問題及び発展問題に取り組む時間を設けます。
---	---	--

関係者・関係機関等との連携

■ 学級担任、養護教諭、TAなどとの連携・協力 情報交換、教材の提供を定期的に行って、協働しながら子供たちへの指導に当たっていきます。	■ 家庭との連携・協力 - 学年や学級担任を通して、子供たちの取り組みの様子や成長などを伝えていきます。 ■ 働き方の工夫 - 学級担任の負担を減らせるよう、先行した準備の徹底を行います。
--	--

